



▲白ネギ畑

地域産業を育むまちづくりのためブランド化を推進する専門機関の設置や販売体制強化への取り組みとして、7月に、地域産業プロデューサーを設置しました。

また、町の呼びかけに集まった町内の企業や施設、特産品加工グループなど50団体62名が、産業ネットワーク設立のための準備会を立ち上げ活動しています。

地域産業を育むまち

ブランド育成プロジェクト

伯耆町ブランド化と
地域産業ネットワーク設立に向けた
取り組み



▲9月3日ブランド戦略部会の様子

準備協議会では、3つの部会をつくり、来年3月末の産業ネットワーク設立に向けて活動していきます。

ブランド戦略部会は毎月第1水曜日、販路拡大部会は毎月第3水曜日、交流会は毎月第4水曜日に部会を開催し、協議を重ねています。



▲黒ぼくが育む野菜

旗印は
黒ぼくりゾート

大山高原

ブランド戦略部会

伯耆町産業ネットワーク準備協議会3部会、ブランド戦略部会、販路拡大部会、交流会の産業ネットワーク設立に向けた取り組みを紹介します。

ブランド戦略部会は、目先の商品開発ではなく「地域と商品に対する消費者からの評価と期待」を高める戦略として、まず、伯耆町らしさを表現するブランド名を決定しました。

黒ぼくとは、火神岳ひのかみだけと呼ばれた大山の火山灰を含む農耕に適した土のことで、大山の自然の恵みや、そこに住む人の優しさ、ぬくもりなどをイメージし、大山のすそ野に広がる伯耆町全体を高原として「黒ぼくりゾート大山高原」と決めました。

今後は、ブランドコンセプトを作り、伯耆町ブランドをPRする取り組みを行います。